



那須の花

ヤマジノホトトギス
細い王冠風の変わった花を夏木立の中で見かけます。斑点模様は鳥の不如帰の羽の模様に似ているとか。庭や花壇にあるものはタイワンホトリトギスで、山のより花が多いようです。

那須の風

平成 21 年 夏 号

発行 東豊開発株式会社

栃木県那須郡那須町大字高久乙

<http://www.touho.jp>

深緑に問う、高原での暮らし

「Hコひいき」という言葉があるそうです。何でもかんでもエコロジー やスローという考え方には結びつけますが、那須高原にいると、自然のリズムや息使い、その根源的なパワーをじかに感じながら生きる、居ることの意義を考えるようになります。ある意味では自然と闘いながら、その営みに身を任せていく覚悟ということなのでしょうか。例えばオーナー自らが歳を重ねたように、木々は年輪を重ね、思わぬ方向にさえ枝や根を伸ばす現実。別荘としてにせよ、定住にせよ、都会や都市近郊で暮らすのとは異なる「捉」があるように思います。コミュニティとしての高原林間別荘地のあり方を考え、勝手気ままでなく、ともに那須で暮らす自覚としての。

那須町の総面積は三万七千二百三十一ヘクタールですが、平成十七年の那須町統計によれば、そのうち二万九千六百二十六ヘクタールが森林です。森林比率が五八・一パーセントですから、まさに森の町といつても過言ではありません。

火山地である那須高原はもともと肥沃であるとはいえませんが、落葉樹が繰り返す落ち葉のライフサイクルによつて表土に栄養を蓄え、木々自らをはじめとす

るたくさんの命をはぐくみ、
水利を支えています。
また、森林浴や森林セラピー
を持ち出すまでもなく、森
のフィトンチッドは人々に
癒しも与えてくれます。
ところが、芽生え、新緑、
緑陰、紅葉とそれぞれの季
節に、心和ませ目を楽しま
せてくれる木々の木の葉で
すが、判つていても落ち葉
の季節になると「厄介者」と
して嫌われがちです。かと
いって、積雪により春先ま
で封じ込めておくという訳

採つても採つても……
の繰り返しで、いさか腐葉土作りに利用するなど
の折れることですが、そのまま自然に帰してやつたり
有効に活用されている方も多いです。
少なくありません。

落葉処理について

This photograph captures the majestic Mount Naso, a stratovolcano located in the northern part of Japan. The mountain's peak is a rugged, dark-colored rock formation, with several steam vents visible on its left side, indicating active geothermal activity. The lower slopes of the volcano are covered in a mix of dark volcanic soil and patches of green vegetation. In the immediate foreground, a cluster of cherry blossom trees is in full bloom, their delicate pink flowers creating a beautiful contrast against the blue sky. The sky itself is mostly clear, with a few wispy white clouds scattered across it. The overall scene is a blend of natural geological processes and the delicate beauty of springtime.

日出平のミネザクラ越しに見る茶臼岳(H21.5)

らいについてはオーナーご自身の作業によるか、弊社のオプション業務として有料で承っています。

オーナーご自身が集めた落ち葉については、九十九

事故になる前に危
な樹木をチェック

町内では、民事的な争いにまで発展したケースも多発する事がありますが、こうした不幸な事態を招かないためにも、ご所有区画内の樹木へ関心と近隣へのお気遣いとをお願いします。他人の所有する木を無断では切れないのです。弊社では、苦心天後の異常発見は勿論、日常の巡回時にも事故を未然に防ぐための視線での観察に努めています。

とがあります。大切
等がある場合は予め
立てていただきか、
にお知らせ下さい。
また、ワンちゃん
物で、辛い思いをし
ますので、散歩時の
をお守り下さい。

雨水排水施設メント

各別荘地で改良やメンテナンスを行っています。

お正月、『ゴーレンウィーク』、お盆は、いずれもゴミの量が尋常ではありません。皆様のご協力で、違反ゴミは減少していますが、総量抑制にも、記憶お願いします。

「ゴミのスリム化に
ご協力下さい

管理業務のお知らせとお願ひ

路肩刈りを実施中です

A photograph showing a worker in a white hard hat and red shirt operating a small blue excavator. The worker is seated in the cab, facing right. The excavator is positioned in front of a tall, light-colored concrete wall with vertical joints and several circular holes. The ground in front of the wall is covered in dark, loose material, possibly soil or debris. In the background, there are dense green trees and bushes under a clear blue sky.

やまゆりの郷漫透槽落葉清掃作業

A large pile of plastic bags and containers, likely recycling, is shown outside a wooden building. A sign on the building reads "SCHWEITZER MUSEUM OF NATURAL HISTORY". Two people are standing near the pile.

殺生石で那須御神火祭

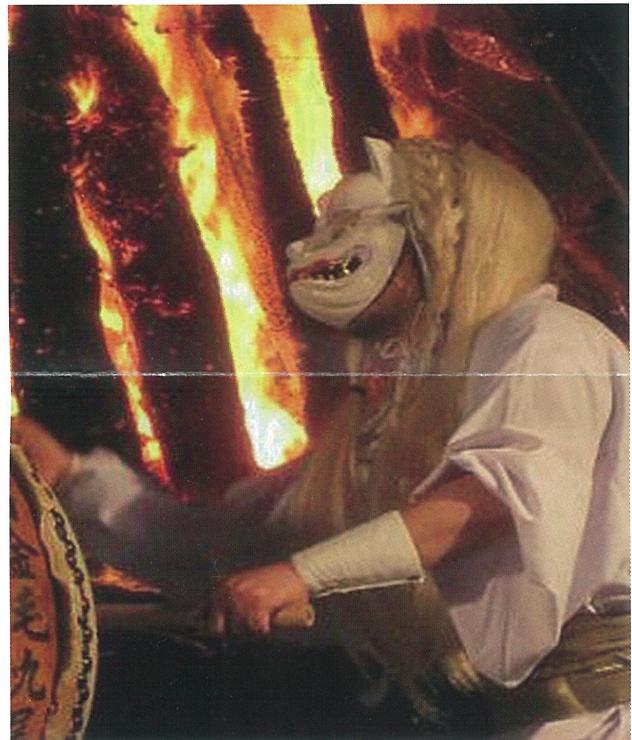
今も白煙を上げる茶臼岳と硫化水素を吐きつづける殺生石は那須の象徴です。

火山の火をあがめ、無病息災と五穀豊穣を祈る伝統行事「那須御神火祭」は、毎年五月末に殺生石を舞台に行われます。

夕闇が山肌を覆う頃、風を切るようなヒヨーという横笛が鳴る。そのいささか不気味な演奏をバックに、



写真上・下：殺生石を舞台に披露される、勇壮な白面金毛九尾狐太鼓。（H21.5.23）



茶臼岳の上には北斗七星が輝き、温泉神社から狐の面

語り部の話が終わる頃、茶臼岳には北斗七星が輝き、温泉神社から狐の面

夕闇が山肌を覆う頃、風を切るようなヒヨーという横笛が鳴る。そのいささか不気味な演奏をバックに、

那須の語り部による「九尾の狐伝説が語り始められます。昔、中国やインドで悪行を尽くした九尾の狐が、遣唐使船に乗つて日本に。

として鳥羽院に仕え、その命を狙う。徐々に体が弱る院の病氣快癒を祈祷する、陰陽師の阿部泰成にその正体を見破られ、白面金毛九尾

の狐の姿を現して那須野が原に逃げる。

那須野が原で悪事を働く原に逃げる。

九尾の狐に対し、朝廷は阿部泰成を軍師として、三浦介、上総介率いる八万の軍

に白装束の人々が百五十人で行列して下りてきます。そして大松明に点火されると、夜空を焦がす炎の前で、白面金毛九尾狐太鼓の乱打が始まります。

炎、笛、太鼓、鉦。荒々しく幻想的なひと時は、燃え落ちる松明の火の粉が飛び散るなか、クライマックスを迎えます。

今年は、翌日結婚式を控えたカップルが「狐の嫁入り」の儀式で大松明点火に花を添え、二千五百人もの観客（主催者の発表）が、火の粉をかぶりながら那須御神火祭を堪能しました。

殺生石には、九尾の狐伝説ばかりでなく、親不孝を戒める教伝地獄や盲蛇石の民話が伝わっています。享保年間に建立された教伝地蔵尊と赤い帽子の千体地蔵も、ここに見所となっています。祭の翌日には「開眼供養」が行われました。

芭蕉の「奥の細道」には、「殺生石は温泉の出づゆ山陰にあり、石の毒氣いまだ滅びず、蜂、蝶のたぐひ真砂の色の見えぬほど重なり死す」とあり、「石の香や

夏の別荘をより爽やかにご利用下さい

別荘内の湿気対策に「ルームドライヤー」が好評です。A3大の省スペース、溜まった水処理がない、停電後自動復帰運転など使いやすがウケています。設置費用は、一台五～六万円です。（電源や壁の状況で異なります）また、お庭の草が繁茂して、来邸早々、草刈・片付といふのも鬱陶しい話です。弊社にて見積のうえ（m百円）、施工します。お早めにご用命をお勧めします。



夏草赤く露あつく」の句碑も建っています。

玄翁和尚については、殺生石を力ち割つたことに因み、硬いものの代名詞となりました。大工さんの使う金槌を「ゲンノウ」といういわれです。また、湯本の喰初寺には、日蓮上人が殺生石を割つたといふ「数珠割の石」が鎮座しており、その周りには毎春ショウジョウバカマが可憐な花を見せていています。

御神火祭りが終わると、山にはヤマボウシの白い花が咲き、那須街道のアジサイが花を付け出し、那須高原は夏へと衣替えです。

管理事務所への訪問者

ふと気がつくと、管理事務所の前でなにやらフサフサしたものが揺れています。リスがやって来たのです。

ウグイスやコジュケイ、キジなどの鳥も、時に優雅に、時にけたたましく事務所脇の藪で鳴きます。



この季節は、ホタルも楽しみです。餌の問題で、全国的に激減していると聞きますが、那須ではどうなのかな心配です。

紙面冒頭の話題になりますが、リスや野鳥に出会える楽しみ、それとは裏腹にハチやアブに悩まされ、小動物やキツツキに建物を害されるリスクのこともお忘れなく。

屋根の「傷み」は、場所がら見逃しがちです。放っておくと雨漏りの原因になります。

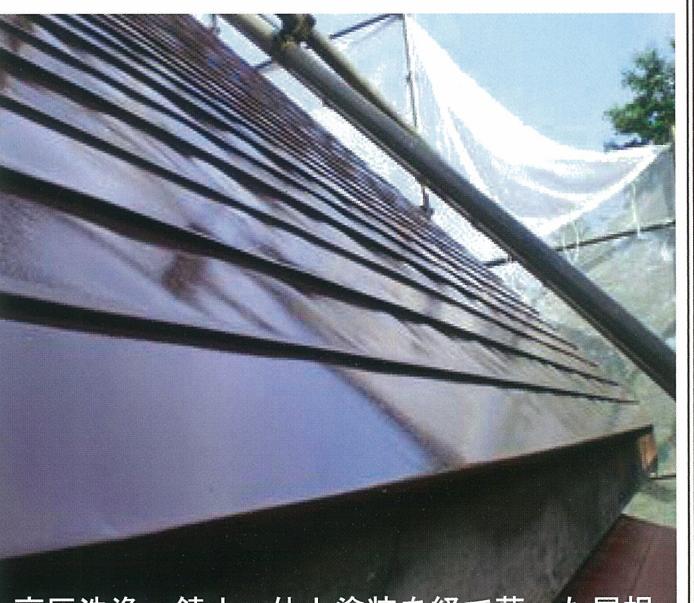


表面の汚れや劣化だけでなく「錆」も出た例

屋根は雨風や雪にさらされているばかりでなく、周囲の樹木が当たったり、樹液や花粉の汚れが溜まつたりで、徐々に痛んできます。強い紫外線も強敵です。

左は経年により「錆」の出てきた例で、このままにしておくと雨漏りを起こすのは確実です。

下は弊社施工例ですが、高圧洗浄＝下地処理の段階で十分に汚れや傷んだ塗料を落とすことで、錆止や仕上塗装材本来の性質を活かすことが出来ます。このこだわり施工で、右のような仕上がりとなり、美しさに加え、耐性の面でも塗料の力を引き出します。



高圧洗浄→錆止→仕上塗装を経て蘇った屋根